

(Visit Request Format)

Request format for Authorization of Visit to SOFA Article II facilities and Areas
(日米地位協定第二条の施設・区域立入許可申請様式)

Visit request number (e.g., 2022-1)

(立入許可申請番号)

REQUEST DATE/(申請の日付)

June 12th 2026/ 令和8年6月12日

1. Name of Facilities and Areas: (FAC XXXX Facility Name (施設番号、施設・区域名))

Camp Hansen, FAC6011/ キャンプ・ハンセン, FAC6011

2. Date of Visit: Date and Time (日付及び時間)

立入が許可された日から180日間までの平日9:00-17:00の間

3. Purpose of Visit:

Describe the details as much as possible, including relevant background information regarding matters to be presented during the visit. (立入の目的(可能な限り具体的に記載))

沖縄県では、下記の理由と目的により、水道水源関連調査を行うためキャンプ・ハンセン及びその管理区域内にて水及び土壌の採取をする必要があることから、1973年日米合同委員会合意「環境に関する協力について」に基づき立入許可を申請する。

〈背景〉

3.1.1 金武町水道水源からの有機フッ素化合物(以下、「PFOS等」という。)の検出

金武町は、沖縄県内米軍基地周辺における高濃度のPFOS等による水質汚染に関する報道を受け、2019年度から、同町の水道水及び水源における水質調査を実施してきた。

この水質調査によると、同町の2つの浄水場(金武浄水場、並里浄水場)の水道水から、暫定目標値(※2026年4月から水道水質基準値)である50ng/Lを超過するPFOS等が検出され、その水源である地下水(金武3号水源)からも最大で410ng/L

の PFOS 等が検出された。

また、2021 年 10 月には金武町金武にある国立病院機構琉球病院が飲用水源としていた井戸から、117ng/L の PFOS 等が検出されたため、琉球病院はこの井戸からの取水を停止している。

そのほか、飲用水源以外にも、河川である金武大川において、最大で 51ng/L の P F O S 等が検出されている。金武大川は、水道が普及する以前、集落の住民の共同水源として利用されてきた歴史があり、1992 年に金武町が文化財として指定するなど、歴史的文化的価値を有している場所である（Appendix5）。

3.1.2 地下水の汚染源について

PFOS 等が検出された水源は、キャンプ・ハンセン兵舎地区に近接した低地にあることから、PFOS 等による汚染がキャンプ・ハンセン兵舎地区からもたらされたことが示唆される（Appendix2）。

〈目的〉

3.2 基地内への立入調査の必要性和目的

金武町では、現在、沖縄県企業局から水の供給を受けて住民への給水を行っているが、リゾート開発等、将来的な水需要の増加を賄うために、豊富な地下水源を活用できるように維持する必要がある。

このため、水源の汚染源を特定する必要があり、周辺の土壌や水を検査し、得られたデータについて、「環境省が定める公共用水域等における指針値」を参考値として評価したい。（Appendix1_サンプル調査の結果を日米双方が適切に評価することができる環境基準）

したがって、汚染源の存在の可能性があるキャンプ・ハンセン内の複数地点において、雨水が集まる排水地点及びその周辺の土壌のサンプリングを行うことが、本立入申請の目的である。（Appendix3_採水・土壌採取地点の概要及び地理的座標。

Appendix4_地下水源確保のための水、土壌採取の必要性について）

なお、質問、追加資料の必要があれば、速やかに対応する用意があるので、その際には日本政府を通じてご教示いただきたい。

4. Visitor(s)/立ち入る者: List of visitors, occupation (立ち入る者の氏名、役職)

List of Visitors

※All or any of the following people/以下の者全員またはいずれか。

(公開版では省略)

List of Vehicles (立入車両の一覧)

(公開版では省略)

5. Point of Contact of the Visitor(s)/ 申請者側の連絡調整者

Name, telephone number(s), and email address (申請者側の連絡調整者の氏名、電話番号、及び電子メールアドレス)

(公開版では省略)

Note1: Details of the visit will be coordinated between points of contact. The name, telephone number and email address of USFJ point of contact will be notified to the point of contact of the visitors if the visit is authorized.

(注意1: 立入の詳細は、連絡調整者間で調整される。在日米軍の連絡調整者の氏名、電話番号及び電子メールアドレスは、立入が許可された場合、申請者側の連絡調整者に通知される。)

Note 2: The commanders of the SOFA Article II facilities and areas will not comment on government-to-government issues, but on their mission related issues only.

(注意2: 日米地位協定第二条施設・区域の司令官は、政府間の問題については意見を述べず、その任務に関連する問題についてのみ意見を述べる。)

Note 3: During the visit, a representative of the visitors must keep a copy of this request format and present it upon demand while on the facility and area.

(注意3: 立入の間、立ち入る者の代表は、この申請用紙の写しを保持し、米軍施設・区

域内で要求があれば提示しなければならない。)

サンプル調査の結果を日米双方が適切に評価することができる環境基準

水環境中において環境省が定める指針値を超える PFOS 等が確認された場合には、環境省が 2026 年 6 月に公表している「PFOS 及び PFOA に関する対応の手引き（第 3 版）」において、その地域で監視調査を実施するとともに、必要に応じて排出源の特定のための調査の実施、濃度低減のために必要な措置を検討することとされていることから、沖縄県としては環境省の同手引きに従って各種調査を行うにあたり、調査結果は同省の指導のとおり同指針値でもって評価をする。また、日本政府にもそのように対応することを伝えている。

なお、直近の事例として、2025 年 5 月の横田飛行場において環境補足協定に基づく立入調査が実施された際は、水質のサンプル分析において、浄化後の水が日米両政府により環境省が定める指針値（暫定）で評価され、雨水排水路に放流された。

米軍施設・区域が汚染源であることを示す科学的根拠が明確なサンプル調査のデータ

金武町が実施したキャンプ周辺の地下水等の調査結果（Attachment 1, Attachment 2）によると、PFOS 等が継続的に検出された水源は、キャンプ・ハンセン兵舎地区に近接した低地にあること（Attachment 3）、キャンプ・ハンセン内に消防訓練施設等が存在していること（Attachment 4）、基地外には PFOS 等を使用する工業施設等が無いこと等から、PFOS 等による汚染がキャンプ・ハンセン内からもたらされたものであることが示唆される。

採水・土壌採取地点の概要及び地理的座標（Attachment 5）

いずれも、座標から半径 20 メートル程度の範囲を想定。

〈採水地点〉

キャンプ・ハンセン周辺の地下水への影響を確認するため、下記地点の PFOS 等濃度を確認したい。

地点① (26. 4652736, 127. 9161204)

上流側の汚染状況を把握するための地点。PFOS 等の有無を確認する。

地点② (26. 4601026, 127. 9217815)

地点①下流となる地点。最大 410ng/L を検出した地点の上流となる。PFOS

等の増減を確認する。

地点③ (26. 4548183, 127. 9102567)

キャンプ・ハンセン南側の地点。PFOS 等の増減を確認する。

地点④ (26. 4655125, 127. 9119220)

地点③上流となる地点。PFOS 等の有無を確認する。

〈土壌〉

PFOS 等溶出試験を行うことで、土壌に含有する PFOS 等濃度を把握し、地下水への影響を確認したい。

地点 ① (26. 4665392, 127. 9244040)

消防訓練施設がある地点。地下水への影響を確認する。

地点 ② (26. 4591637, 127. 9137315)

採水地点④の下流。地下水への影響を確認する。

地点 ③ (26. 4571467, 127. 9219944)

最大 410ng/L を検出した地下水の付近。地下水への影響を確認する。

地点 ④ (26. 4555738, 127. 9151682)

採水地点④の下流。地下水への影響を確認する。

【Appendix 4】

地下水源確保のための水、土壌採取の必要性について

金武浄水場及び並里浄水場では、PFOS 等が検出された水源の一部の井戸からの取水停止、粒状活性炭の導入、沖縄県企業局から供給された水との混合希釈などの対策を講じ水道水の PFOS 等濃度の低減化を行ってきたが、コストの増大により給水事業の維持が困難となったことから、2023 年 2 月から、住民への配水を停止し、住民へ供給する水の全量を沖縄県企業局から供給された水で賄うこととなった。

このように、金武町では、現在、沖縄県企業局から水の供給を受けて住民への配水を行っているが、今後、水事情の悪化、導水路事故の発生、宿泊施設の増加等によって水需要が増加する可能性があり、企業局からの配水のみでは需要を満たすことが厳しくなると見込まれる。豊富で安定した水量を有する地下水源が活用できないことは、金武町の損失となることから、抜本的な解決のため、汚染源の究明と対策が必要である。なお、金武浄水場及び並里浄水場では、現在も浄水機能を維持するための最小限の運転を行っている。

金武町指定文化財（金武大川（ウッカガー）情報(Attachment 6)

ウッカガー（金武大川）は、並里集落の中央にある共同湧水である。県下でも有数の水どころとして知られ、1日に湧き出る水量は1,000トンを超え、1978年（昭和53）には1日に3,600トンの湧水量があった。

大正初期頃のウッカガーは、三つのガマグチ（琉球石灰岩の割目）から水が湧き溢れ、どこまでが水汲場なのかはっきりとしていなかった。1924年（大正13）に昭和天皇の御成婚記念事業として、金武・並里の両区が費用1,600円（現在の価値で約167万円）を負担し、金武では最初のコンクリート構造物として整備された。この記念事業では男女別の水浴場、イモ・野菜洗場、牛馬洗場など用途別に区切られた。1930～1931年頃（昭和5～6）の拡張工事では新しく洗濯場、髪洗場、噴水が設けられた。

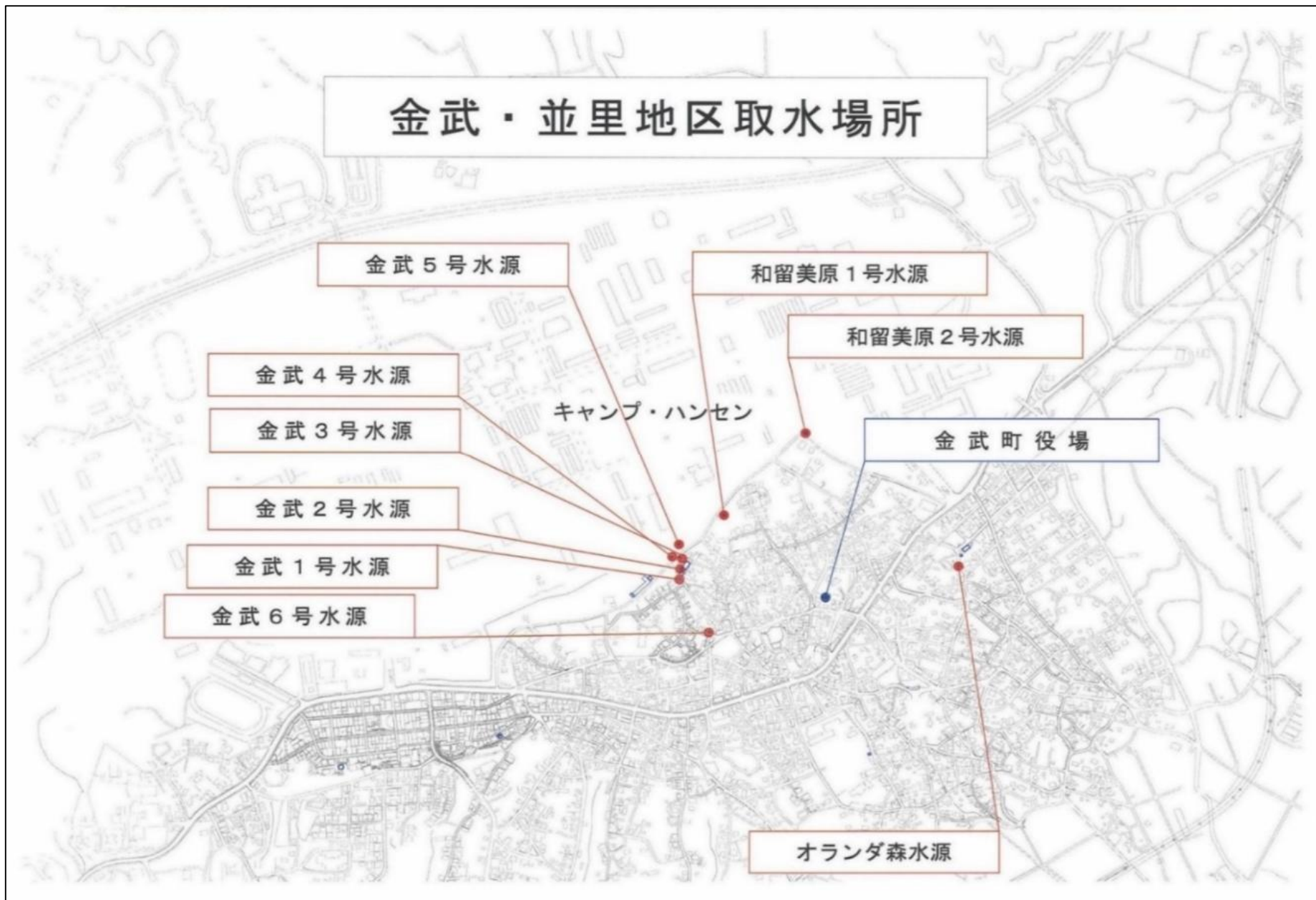
「長命の泉」ともいわれるウッカガーは、生活用水のみならず、元旦にはじめて汲む「若水」、生まれた赤子の「産水」子供の額につける「水撫」、お産に使用した汚れ物を洗い流す「カーウリー」など、お祝いの儀礼にも利用されている。

表. PFOS+PFOA検出状況

(単位 : ng/L)

	金武浄水場地区						並里浄水場地区					
	地下水						水道水	地下水			水道水	
	金武1号水源	金武2号水源	金武3号水源	金武4号水源	金武5号水源	金武6号水源	金武浄水場浄水	和留美1号水源	和留美2号水源	オランダ森水源	並里浄水場浄水	
最大	78	130	410	190	172	29	70	100	19	9	50	
最小	25	44	33	27	130	11	15	29	9	5	4	
平均	43	78	172	90	151	16	39	54	15	8	17	
検査回数	5	5	3	3	2	5	6	4	5	5	6	
June 26, 2019	79							35				
August 27, 2019							32				18	
December 11, 2019	25	44	72	53	172	13		29	9	5		
June 22, 2020	28	87	410	190	停止	29	70	100	19	9	50	
September 29, 2020			停止	停止	停止		30	停止			16	
December 16, 2020	51	76	停止	停止	停止	13	44	停止	18	9	8	
April 20, 2021	78	130	停止	停止	停止	12	41	50	17	9	8	
July 27, 2021	31	53	停止 33	停止 27	停止 130		11	15	36	11	6	4

※令和2年4月1日に設定された水道水のPFOS及びPFOAの目標値(暫定)である50ng/L(PFOSとPFOAの合計)



图：採取地点地図

表. 2024年金武町PFOS等広域調査結果

	地点番号	No.1	No.2	No.3	No.4.a	No.4.b	No.4.c	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	
項目	地点名	億首川 中流	ハンセン 処理水	億首川 下流農業 用水路	琉球病院 上流	琉球病院 合流点	琉球病院 下流	石川川	美徳川	屋嘉地区 の小河川	渡久比那 川	クラ川	大川	慶武田川	処分場 上流	名古屋川	比較する基準
	単位	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	(ng/L)	
PFOS	(ng/L)	<2	4	7	150	100	160	14	<2	20	<2	5	13	4	50	5	環境基準の指針 値（暫定） PFOS・PFOA合 計値 50ng/L以下
PFOA	(ng/L)	<2	5	2	11	11	9	5	<2	17	<2	3	34	3	41	5	
PFHxS	(ng/L)	<2	11	7	49	46	29	21	<2	2	<2	2	31	5	6	<2	
PFOSとPFOA の合計値		<4	9	9	160	110	170	20	<4	37	<4	9	48	8	91	11	

■：環境基準の指針値（暫定）「PFOS・PFOA合計値50ng/L以下」を超過した地点。

出所：金武町役場WEBサイトより



表. 2025年金武町PFOS等広域調査結果

	地点名 単位	No.1	No.2	No.3	No.4.a	No.4.b	No.4.c	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	比較する基準
PFOS	(ng/L)	<2	2	6	210	110	180	10	<2	23	<2	4	15	4	5	3	環境基準の指針値
PFOA	(ng/L)	<2	2	2	18	14	20	2	<2	52	<2	3	35	3	6	4	(暫定)
PFHxS	(ng/L)	<2	<2	7	76	54	59	16	<2	5	<2	<2	31	4	<2	<2	PFOS・PFOA合 計値
PFOSとPFOA の合計値		<4	5	8	220	130	200	12	<4	75	<4	8	51	7	11	7	50ng/L以下

■：環境基準の指針値（暫定）「PFOS・PFOA合計値50ng/L以下」を超過した地点。

出所：金武町役場WEBサイトより



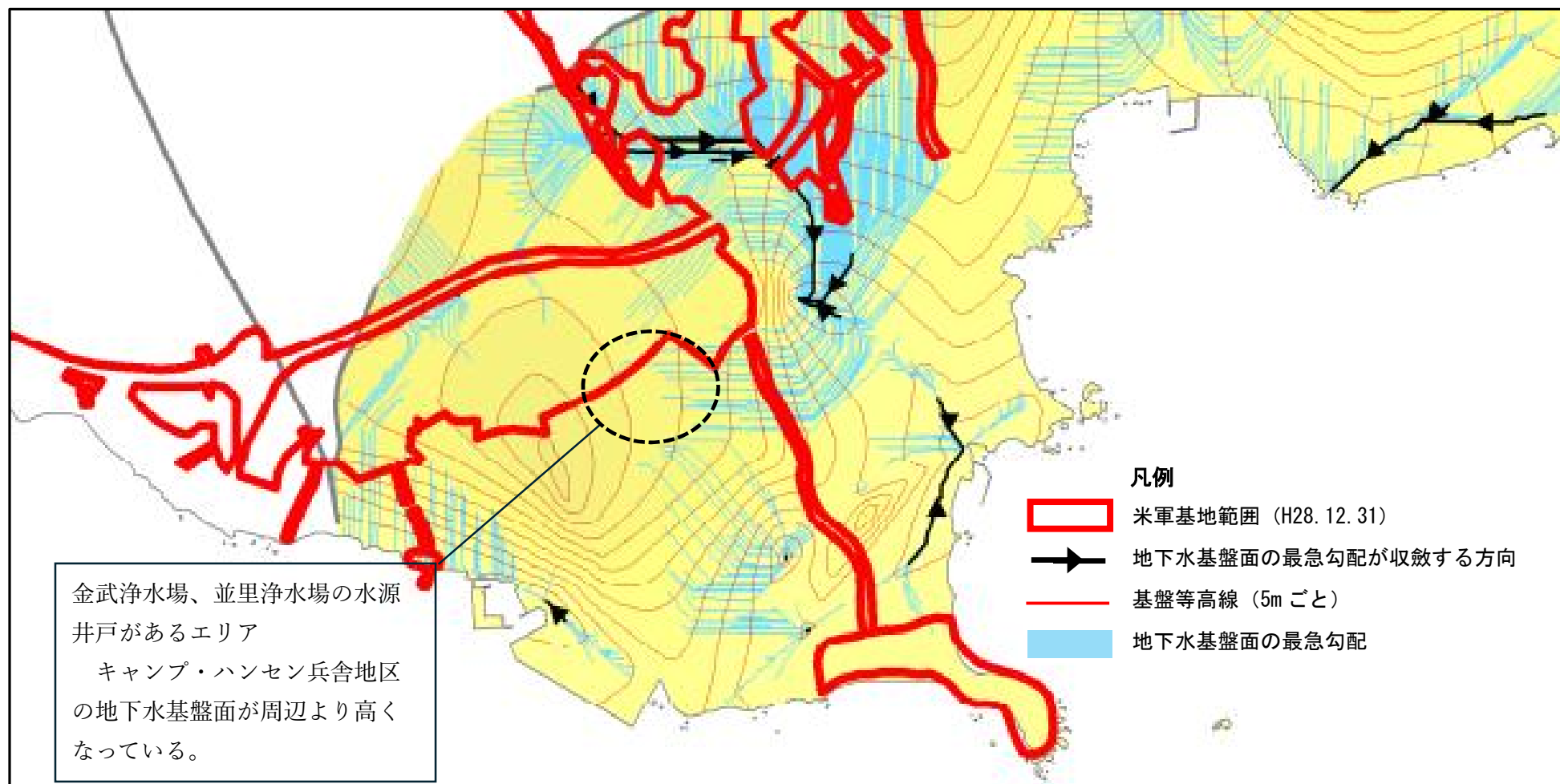


図. キャンプ・ハンセン周辺地下水基盤面等高線図

出所：(沖縄県) 米軍基地環境カルテ_キャンプ・ハンセンに追記して作成

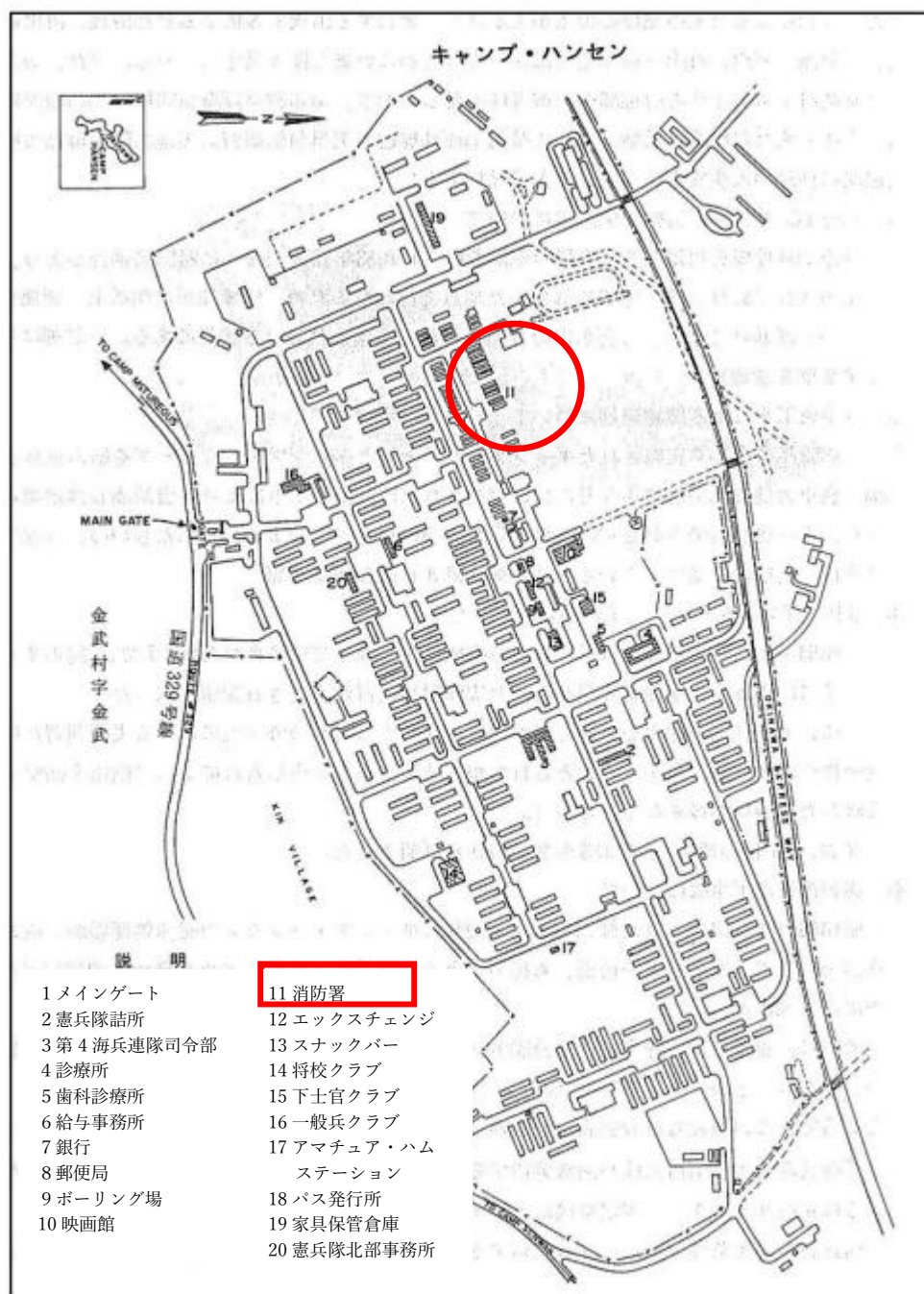


図1. 過去（1979年頃）に消防施設があった場所

出所：（沖縄県）米軍基地環境カルテ_キャンプ・ハンセン（「沖縄の米軍基地_昭和54年3月、沖縄県渉外部」から引用）

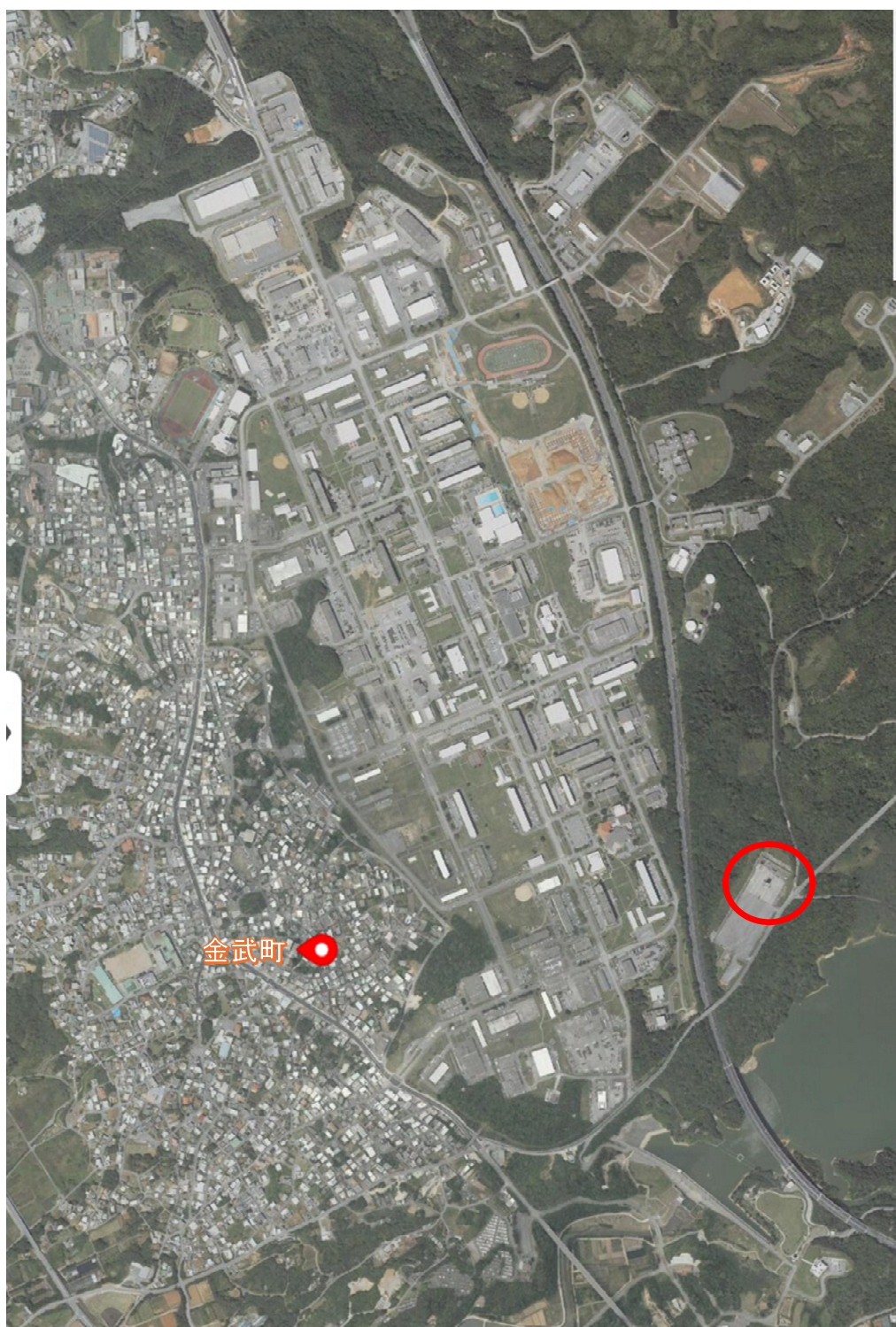


図2. 最近の消防施設の場所

出所：国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス より



Camp Hansen (黒斜線)

金武町

water sampling 1
(26.4652736,127.9161204)

soil sampling 1
(26.4665392,127.9244040)

water sampling 4
(26.4655125,127.9119220)

soil sampling 2
(26.4591637,127.9137315)

water sampling 2
(26.4601026,127.9217815)

soil sampling 4
(26.4555738,127.9151682)

soil sampling 3
(26.4571467,127.9219944)

water sampling 3
(26.4548183,127.9102567)

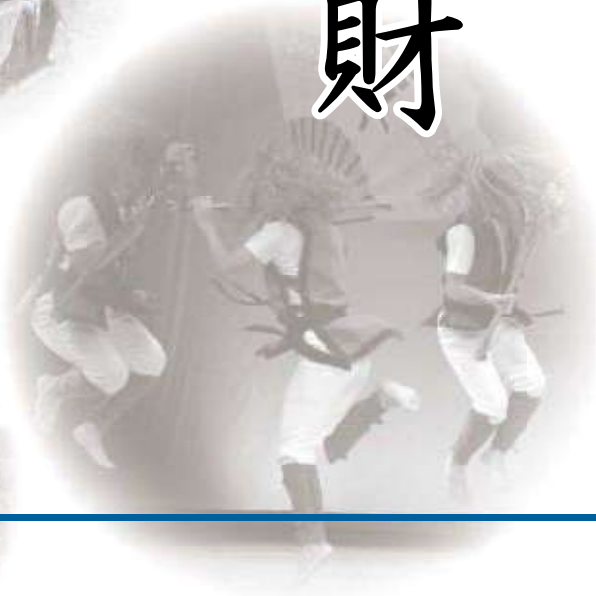
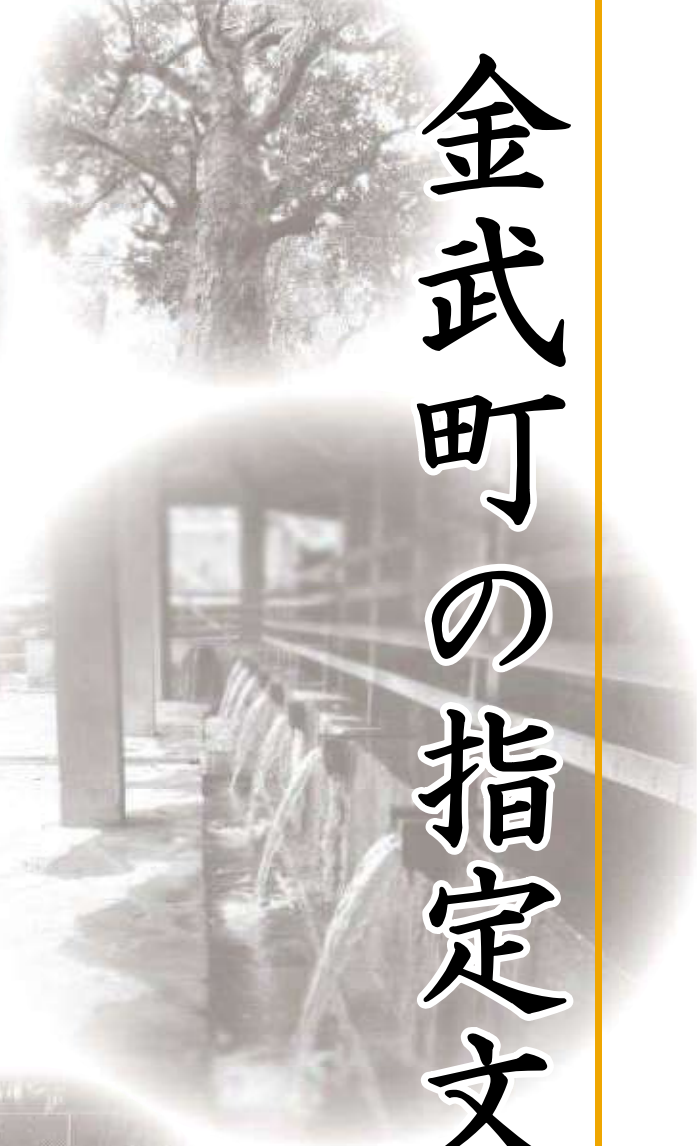
金武3号水源 (地下水)
最大410ng/L(PFOS+PFOA)
(26.4565646,127.9221077)

金武大川 (ウッカガー)
最大48ng/L(PFOS+PFOA)
(26.4565646,127.9221077)

琉球病院上流
最大310ng/L(PFOS+PFOA)
(26.4509659,127.9087778)



金武町の指定文化財



2022 (令和4) 年
金武町教育委員会

ウッカガー（金武大川）

文化財指定年月日／1992年（平成4）5月7日 町指定記念物（史跡）



- 📍 金武町字金武640番地
- 🚌 金武町役場前バス停より歩いて5分ほど
- 🚗 金武ICより車で10分ほど
- 🅑 大川児童公園専用駐車場
- 📄 金武・並里 B-3 [2ページ]



ウッカガー（金武大川）は、並里集落の中央にある共同湧水です。県下でも有数の水どころとして知られ、1日に湧き出る水量は1,000トンを超えますが、1978年（昭和53）には1日に3,600トンの湧水量がありました。

大正初期頃のウッカガーは、三つのガマグチ（琉球石灰岩の割目）から水が湧き溢れ、どこまでが水汲場なのかははっきりとしていませんでした。1924年（大正13）に昭和天皇の御成婚記念事業として、金武・並里の両区が費用1,600円（現在の価値で約167万円）を負担し、金武では最初のコンクリート構造物として整備されました。この記念事業では男女別の水浴場、イモ・野菜洗場、牛馬洗場など用途別に区切りました。1930～1931年頃（昭和5～6）の拡張工事では新しく洗濯場、髪洗場、噴水が設けられました。

「長命の泉」ともいわれるウッカガーは、生活用水のみならず、元旦にはじめて汲む「若水」、生まれた赤子の「産水」、子供の額につける「水撫」、お産に使用した汚れ物を洗い流す「カーウリー」など、お祝いの儀礼にも利用されていました。

1964年（昭和39）にウッカガーと鍾乳洞が新沖縄観光名所に選ばれました。現在のウッカガーは、1990年（平成2）に改修工事がおこなわれたほか大川児童公園なども整備されました。